

スヌーズレンの基本的な理解

—マーテンス博士の講演「世界のスヌーズレン」—

国際スヌーズレン協会日本支部長
三重大学教育学部教授

姉崎 弘 編著



国際スヌーズレン協会日本支部



まえがき

私は、今年国際スヌーズレン協会(International Snoezelen Association)、いわゆる ISNA の日本支部を設立した。これまで、わが国では、世界のスヌーズレンに対して関心のある人がきわめて少なく ISNA の会員は私一人のみであった。ISNA からのかねてからの要請に応じての設立であった。

クリスタ・マーテンス博士は、ドイツ・フンボルト大学のリハビリテーション科学研究所の教授を永く勤められ、現在世界のスヌーズレン研究の第一人者であると言っても過言ではない。博士は、1970 年代にオランダでスヌーズレンが始められると、いち早くオランダへ赴き、創始者のフェアフルやフルゼッヘと親交をもち、以来 30 年間以上にわたって、さまざまな対象者に対して、自らスヌーズレンの実践を行いながら、またいろいろなスヌーズレンルームの機能や効果を検証し、その理論的な体系化を図った最初の人物である。

博士は、その豊富な実践と科学的な研究を踏まえて、2002 年にフンボルト大学で、フェアフルとともに、国際的な ISNA を組織され、以来 8 年間にわたって共同代表を勤められた。そして今日に至るまで、数多くの国際的なスヌーズレンシンポジウムやスヌーズレン会議を企画運営され、まさに全世界にスヌーズレンを広められた第一人者であり功労者である。

私は、2003 年にオランダで開催された第 2 回国際スヌーズレンシンポジウムで研究発表を行った際に、博士と初めて面識を持った。特に、2008 年には、文部科学省の在外研究員として国費でフンボルト大学の博士のもとに留学する機会に恵まれ、博士の温かいご指導のもとに、スヌーズレンセミナーに参加し、ヨーロッパのさまざまなスヌーズレン施設を視察させていただくとともに、最初の著書 ” Snoezelen - Eine Einführung in die Praxis” の翻訳に従事し、2009 年に『スヌーズレンの基礎理論と実際―心を癒す多重感覚環境の世界―』として出版した。本書はわが国に、スヌーズレンの理論と実践を初めて体系的に紹介した書籍である。

今回、日本支部の設立にあたり、三重大学に博士をお招きして、スヌーズレンの講演会が開催できたことは、この上のない光栄であり、感謝の念で一杯である。本書は、この時の博士の講演内容に美しいカラーライドを付け、私の解説も付記した。本書が、わが国において、これからスヌーズレンの実践や研究に従事するすべての人々にとって、スヌーズレンの基本を理解する手引書として活用されるならば、編著者として誠に幸いである。